

第64回福島県身体障がい者福祉大会被表彰者名簿

(敬称略)

◆ 自立更生者表彰(13人)

桑折町	古山 サク	只見町	三瓶 信恵
伊達市	梶 孝子	西会津町	矢部 修
伊達市	三品 寛	喜多方市	田代 婦子
二本松市	渡辺 孝一	南相馬市	上田 幸雄
本宮市	橋本 徳治	新地町	竹澤 永
玉川村	近内 竹好	相馬市	菊地 美江子
棚倉町	小浜 功		

◆ 更生援護功労者表彰(15人)

桑折町	紺野 久子	磐梯町	皆川 惣喜
伊達市	松浦 百合子	南会津町	児山 多助
伊達市	遠藤 久子	西会津町	長谷川 弘子
二本松市	相田 喜代子	喜多方市	神田 栄子
本宮市	橋本 ヒサ子	南相馬市	前田 弘光
本宮市	渡邊 孝子	飯舘村	山田 長清
浅川町	割栢 重治	相馬市	佐藤 忠好
塙町	鈴木 泰雄		

◆ 加盟団体運営協力者感謝(18人)

桑折町	斎藤 節子	平田村	大和田 弘次
伊達市	八巻 政隆	古殿町	緑川 弘文
伊達市	長根 陸郎	棚倉町	大橋 勝二
伊達市	宮腰 良平	南会津町	小川 タイ子
二本松市	斎藤 満	西会津町	鈴木 キス子
二本松市	茂木 登美子	喜多方市	小荒井 均
二本松市	嶋原 一英	南相馬市	横山 泰啓
本宮市	松井 忠廣	新地町	吉田 美江子
本宮市	上泉 ミイ	相馬市	荒 直康

◆ 会長特別感謝(2人)

福島市	佐藤 勝三	二本松市	小松 博保
-----	-------	------	-------

大会スローガン

- ◎ 障害者差別解消法の理解を深め啓発を図ろう
- ◎ 被災障がい者のおもいに添った支援を継続しよう
- ◎ 障がい者の社会参加にさらに取り組もう

大会宣言

福島県会津地方の北部に位置し、日本三大ラーメンの一つに数えられる喜多方ラーメン発祥の街、また蔵が多く蔵の街として知られる、ここ喜多方市において、県内各地から多くの仲間と関係者が一堂に会し、第64回福島県身体障がい者福祉大会を開催できたことは、まことに喜びに堪えない。

本大会に寄せられた各関係機関、団体をはじめ広く県民の方々のご支援とご協力に対し、改めて深く感謝の意を表したい。

一昨年に念願であった障害者権利条約が批准され、本年4月には、障害者差別解消法が施行された。障がいを理由とした差別を禁止し、合理的配慮の提供を規定した障害者差別解消法の意義は大きい。

今後、障害者差別解消法が県民の理解のもと、差別解消に向けた具体的な取り組みが実施され、さらに私たち障がい者を含めた県民一人ひとりの自発的な取り組みがなされるとともに、福島県の実情に即した「障がい者差別禁止条例」が制定されることを求める。

また、今年4月の熊本地震では多くの被害が発生し、被災された熊本の皆様に対し心からのお見舞いと、一日も早い復興をお祈り申し上げるとともに、東日本大震災により長期避難生活を過ごしている県内外の障がい者が、一日も早く、生きがいのある生活を取り戻せるよう引き続き支援活動を展開していく。

このような課題の多い状況にあっても、県内の障がい者一人ひとりが自立への誇りと社会参加への意欲を強く持ち、福島県身体障がい者福祉協会のもとに一致団結し、ともに生き・ともに助けあう明るい社会の実現のため、力強く行動することを誓い、ここに宣言する。

平成28年9月27日

第64回福島県身体障がい者福祉大会

大会決議

身体障がい者の自立と社会参加を促進し、「完全参加と平等」の実現を図るとともに被災加盟団体の再建及び被災会員の支援に万全を期するため、第64回福島県身体障がい者福祉大会の開催に当たり、参加者総意のもとに次の事項を決議し、その実現に努める。

要望事項

- 1 共生社会をめざし障害者権利条約を障がい者施策に実現させることを要望する。
- 2 障がい者差別をなくすための条例の制定を要望する。
- 3 障がい福祉サービスとバリアフリー施策の一層の充実を要望する。
- 4 被災加盟団体の再建と被災会員の支援に関する制度の創設を要望する。
- 5 障がい者の就労・雇用の場の創出と雇用機会の拡充を要望する。

努力事項

- 1 すべての身体障がい者が当協会に加入するよう促すとともに、各加盟団体において活性化の方策を具現化し、会員相互の親睦を図りつつ、組織及び財政基盤の拡充に努力する。
- 2 身体障がい者みずからが社会の構成員としての自覚を持ち、持てる能力を十分活用し、共生社会の実現に向けて努力する。

以上決議する。

平成28年9月27日

第64回福島県身体障がい者福祉大会